

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	コロナ前とコロナ禍の産後うつ病ハイリスク群の比較検討
研究責任者	柳村直子
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>人と人の距離を保つことが必要なコロナ禍において、出産後の母親の「産後うつ」の増加が不安視されています。当センターで産後健診時行っている「エジンバラ産後うつ病質問票」と「赤ちゃんへの気持ち質問票」の結果の変化を、コロナ前(2019年11~12月)、コロナ第1波の頃(2020年4~5月)、コロナ第4波の頃(2021年4~5月)で比較検討し、妊娠期から産後までの切れ目のないケアを考える一助とすることを目的としています。</p>
研究方法	<p>産後健診で記入していただいている、「エジンバラ産後うつ病質問票」、「赤ちゃんへの気持ち質問票」の実態調査をコロナ前とコロナ禍で比較します。また点数が高いハイリスク群の方は妊婦健診時に記入していただいている「育児支援シート」の内容を確認し、ハイリスクの要因を考えていきます。</p> <p>すべてのデータは匿名化され、パスワードをかけて保管されています。個人が特定できない形となっており、個人情報などが第三者に知られる危険はありません。</p> <p>研究対象期間に質問票を記入した方で、データを使用して欲しくないという方は、下記の連絡先までご連絡ください。その方のデータを除いて集計いたします。データを使用したくないという方も、今後の健診・診療に不利益をこうむることはありません。</p> <p>本研究で得た知見は学会や論文等で公表する予定です。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 周産期外来 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：柳村直子 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>